

# 輸入飼料高騰で畜産業も危機

## 国の抜本的な対策が必要

日銀の円安政策やロシアのウクライナ侵略などで輸入飼料が高騰しています。大谷市議と日隈市議は酪農家から最近の状況について聞き取りました。



日田酪農組合の代表者諫山さんは、「乳価は上がらないのに配合飼料や牧草が上がっている。配合は以前(1kg当たり)54円だったが今は74円」「飼料が上がって基金からの支援も6円(1kg当たり)。54円からの差額が必要。日田市の酪農家は以前は30数軒あったが今は22軒」「以前頭数を増やせと言ったので増やしたが、それが重荷になっている。自家育成牛への支援があると少しは助かる」と述べました。

市の担当課としては「畜産業の状況について実態調査を進めていきたい。国の補正予算の動

向もまだこれからで、内容をみながら検討していきたい」と述べました。

日本共産党は、2月に続き、4月15日に、現在の「コロナ危機」と物価高騰からくらしと営業

## 「戦争ノ、ウクライナに平和を」

5月3日の憲法記念日、憲法9条を守る日田の会(橋本雅文代表)は、「平和のための市民ウォーク」を市内中心部で行ないました。

積極的な話し合い、外交努力が政治に求められています。

# 平和を願う市民ウォーク

5月3日  
憲法記念日

「核共有」など宣伝していますが、軍事力対軍事力の拡大悪循環では、戦争の危険が増すばかりです。9条の立場で平和のための



を守る緊急経済対策を発表し、緊急に補正予算を編成し、次の8分野で23項目の対策を求めました。農業対策では肥料・配合飼料価格安定のための財政措置など3項目、価格対策では消費税の5%減税を始め4項目、生活困窮対策では6項目、その他社会保障、賃金引上げ、中小企業対策、エネルギー対策、財政金融対策など提案しています。

## 感染拡大防止に 無料検査の活用を

県・市内でも新型コロナウイルス感染症は拡大の傾向です。感染に不安を感じる無症状者(県在住者)が対象で無料検査を実施しています。期間は5月31日(火)まで。対象外の方は症状のある方、濃厚接触者、勤務先からの指示で検査を希望される方。また会社・学校等での出社、登校の陰性確認には利用できません。

日田市内では左記の検査場所を実施していますが、検査希望者は必ず薬局に電話して、検査予定日、検査時間等確認してください。(尚、無料検査の対象外の方は有料となります)

薬局・店名	住所・電話
伊東薬局 日ノ出町店	日田市大字渡里22-1 (電話23-5910)
朝倉薬局 天神店	日田市三和73-5 (電話24-6660)
喜久屋薬局 田島店	日田市田島2丁目4-6 (電話27-6031)
楼蘭薬局	日田市銭淵町31-2 (電話22-1100)
あふれる薬局	日田市竹田395-4 (電話28-5733)